

2節 自由主義・ナショナリズムの進展

1

19世紀の転換点



- (1) ウィーン会議の後王権が復活したフランスでまたもや1830年に革命が起きた。これを何というか。
- (2) (1) いざ作られた王政で「フランス人の王」と称した国王。
- (3) 1848年フランスで選挙権の拡大と議会の改革を求めて、共和主義者と社会主義者が協力して起きた革命。
- (4) (3) に影響をうけ、ウィーンの民衆が蜂起し、メッテルニヒが亡命したドイツの革命。
- (5) (4) 以降ドイツで自由主義運動の高まりの中、作られた議会。
- (6) 一つの民族が一つの国家を作るということを理想とした考えを何というか。